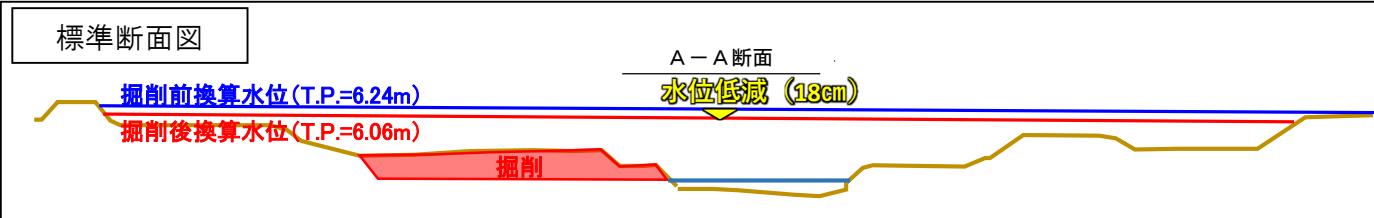
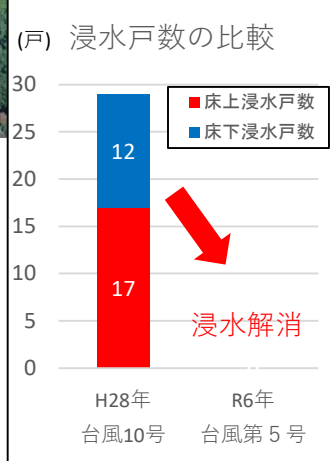
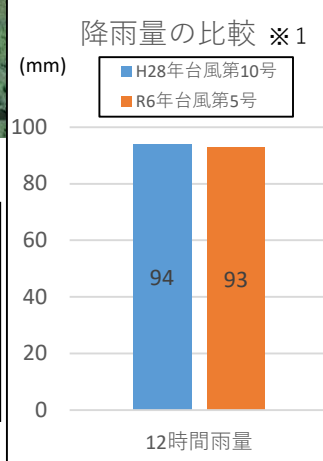
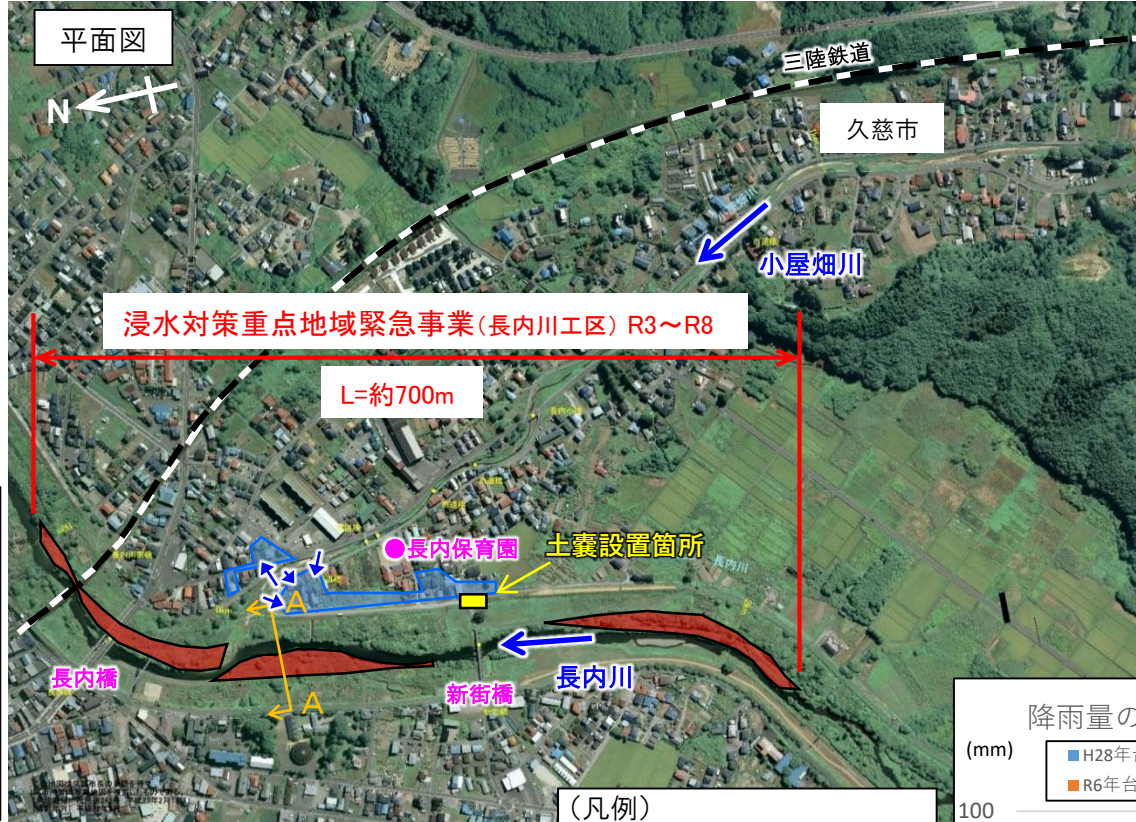


令和6年台風第5号の大雨における治水対策の効果(岩手県久慈川水系長内川)

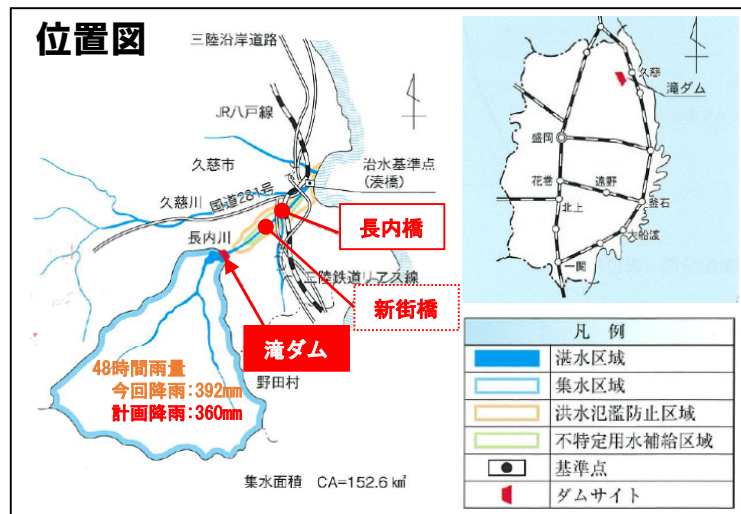
- 岩手県久慈市の長内川・小屋畑川では、平成28年8月の台風10号により、長内川右岸において床上17戸、床下12戸を含む浸水被害が発生。
- 県では、浸水対策重点地域緊急事業等（5カ年加速化予算を含む）を活用し、緊急的かつ集中的に河道掘削を実施。
- 河道掘削及び滝ダムの事前放流により、平成28年台風10号と同規模の総雨量の雨に対して、家屋等の浸水被害を防止。



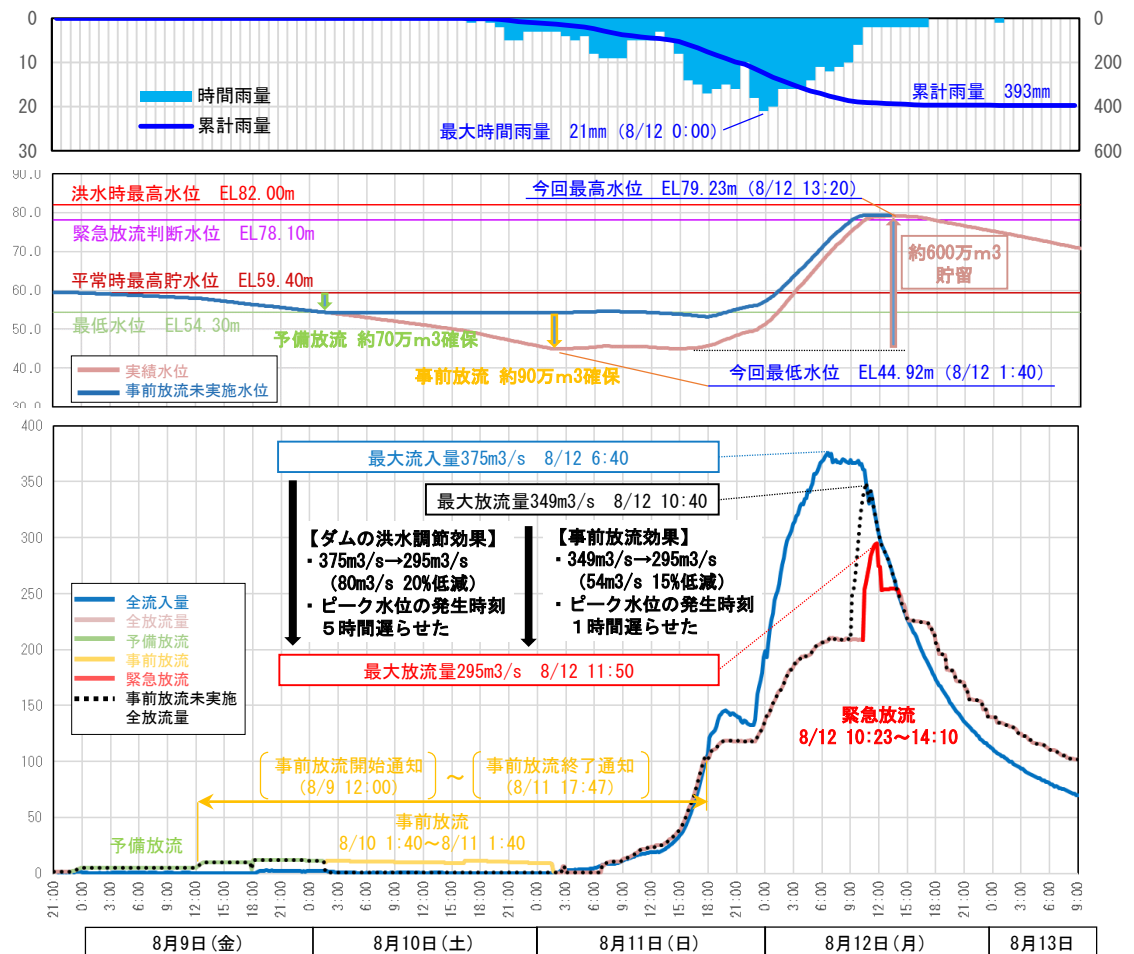
※1 久慈雨量観測所(气象台)での比較

(参考) 二級河川久慈川水系長内川 滝ダム(岩手県久慈市)の 事前放流及び洪水調節による治水効果 (令和6年8月 台風第5号)

- 二級河川久慈川水系長内川の滝ダムでは、台風第5号による豪雨に備え、予備放流を実施し洪水調節容量600万m³を確保、さらに事前放流により約90万m³の容量を追加で確保し、洪水調節を実施した。
- 計画を上回る大雨により緊急放流に移行したものの、洪水調節により洪水のピーク時の375m³/sを295m³/sへ80m³/s(約20%)低減させ、下流河川の水位低減、洪水による浸水被害防止に効果を発揮した。
- 上記洪水調節によりピーク水位の発生時刻を約5時間遅らせ、水防活動や避難行動に要する時間を確保した。
- また、事前放流の効果として、最大放流量を54m³/s抑え、緊急放流の開始時刻を約1時間遅らせた。



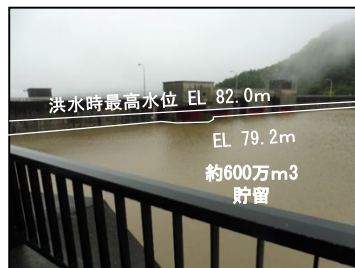
事前放流・洪水調節の状況



貯水池の状況



8月11日8:30
事前放流実施後の貯水位維持



8月12日14:00
緊急放流中

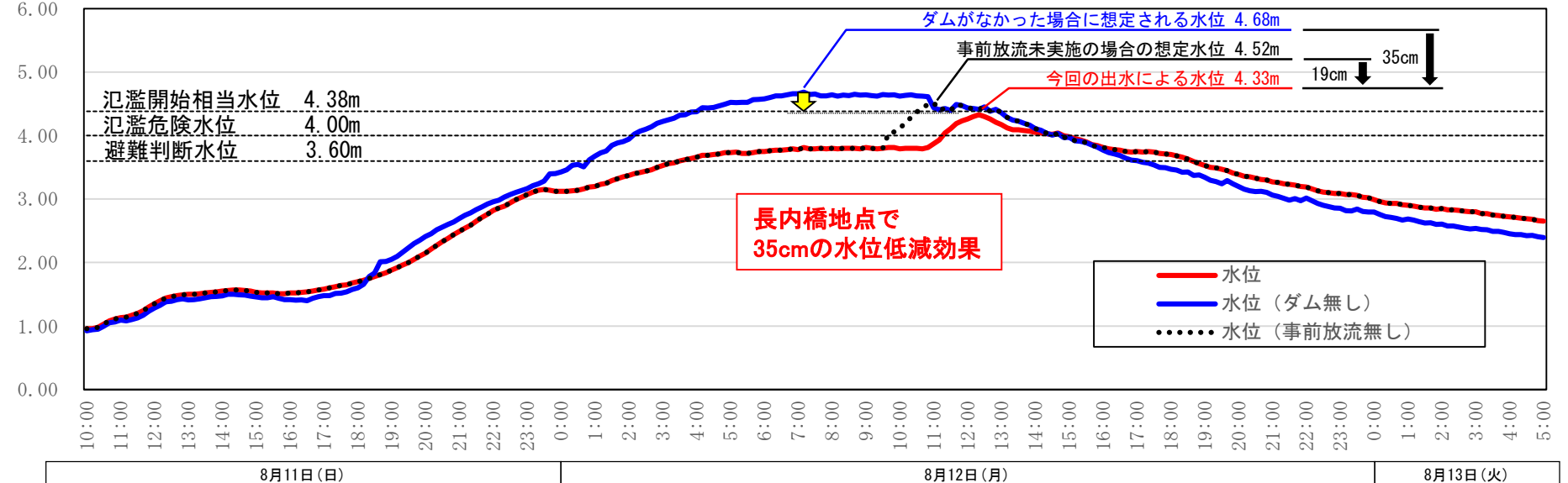
(参考) 二級河川久慈川水系長内川 滝ダム(岩手県久慈市)の 事前放流及び洪水調節による治水効果 (令和6年8月 台風第5号)

- 滝ダム下流の長内橋地点では、ダムの予備放流、事前放流及び洪水調節により、35cmの水位の低減効果があったものと推定され、河川水位を氾濫開始相当水位4.38m以下に抑えることができ、ダム下流河川の越水氾濫の防止に効果を発揮した。
- ダムがなかった場合、氾濫開始相当水位を超過し、沿川では洪水による浸水被害が発生していたと推定される。
- また、事前放流未実施の場合も同様に、氾濫開始相当水位を超過していたものと推定される。

■長内橋地点の水位低減効果



■長内橋水位観測所



■新街橋地点の水位低減効果(参考)

